

全日中事務局だより

教育関係「二十三団体」「全国集会」が
東京で開催される

▼令和六年十一月二十七日東京都千代田区永田町にある参議院議員会館講堂において、あべ俊子文科大臣出席のもと「教育関係二十三団体全国集会」が開催された。

▼この「全国集会」は、例年、教育関係団体連絡会（教育関係二十三団体）が主催しているが、本年は、「子供たち一人一人に対するきめ細かな教育の実現のための教育予算拡充を求める集会」として、開催された。

▼教育関係二十三団体は次の団体で構成されている。

（順不同）（公社）日本PTA全国協議会、（公社）日本教育会、全国市町村教育委員会連合会、全国都市教育長協議会、中核市教育長会、全国町村教育長会、全国連合小学校長会、全日本

中学校長会、全国公立小・中学校女性校長会、全国特別支援学校校長会、全国連合退職校長会、全国高等学校校長協会、全国公立学校教頭会、全国特別支援教育推進連盟、全国へき地教育研究



連盟、日本連合教育会、全国養護教諭連絡協議会、全国公立小中学校事務職員研究会、（公社）全国学校栄養士協議会、日本教職員組合、全日本教職員連盟、日本高等学校教職員組合、全国教育管理職員団体協議会

▼これらの団体は、保護者、教職員団体、校長会・教頭会等の管理職団体、教育長及び教育委員会等、多岐にわたっており「教育」に関わりのある様々な団体で構成されている。

▼この全国集会では、参加者において「子供たち一人一人に対するきめ細かな教育の実現のための教育予算拡充を求めるアピール」を採択し、広く国民に理解と支援をいただけるよう呼びかけることとしている。

▼すでに、来年度の予算に関わって財務省と各省庁との間では熱い攻防を経て、政府案は確定している。これから国会での論戦が始まる。

▼今後、全日中としては少人数学級の

計画的な整備を図っていくことや、教員の業務を軽減するための支援員の全校配置、さらに、優れた教員を確保するための処遇改善など、国民全体の声として、国に対して訴えていかなくてはならない。

▼当日は、各団体から二五〇名を超える参加者が会場に集った。また、当日は、あべ 俊子文科大臣に加えて武藤 新副大臣、金城 泰邦政務官も参加された。さらに、各政党代表者として、自由民主党からは教育・人材力強化調査会長 柴山 昌彦衆議院議員、公明党からは、文部科学部会長 浮島 智子衆議院議員、立憲民主党からは、幹事長 小川 淳也衆議院議員、日本維新の会からは、政務調査会福会長 金子 道仁参議院議員、国民民主党からは、代表代行 古川 元久衆議院議員、社会民主党からは、副党首 大橋 裕子参議院議員が参加され、挨拶をいただいた。

▼参加された各政党代表の国会議員か



らは、学校現場での教職員の働き方、教員不足、子供たちの不登校、さらには教職を目指す志望者の激減といった様々な課題を取り上げ、何とかして解決に結び付ける努力をしていく決意が

述べられた。

▼最後に、「子供たち一人一人に対するきめ細かな教育の実現のための教育予算拡充を求めるアピール」を全国連合小学校長会の植村 洋司会長が読み上げ、参加者により採択された。

その後、各団体が衆参の国会議員会館を訪問し、その「アピール」等の文書を持参し、要請活動を展開した。

▼この「アピール」文は、本会HPの会員ページにアップされているので、是非、御一読いただけると幸いである。

会員計報

北海道幕別町立忠類中学校長
松本勝弘様 五十五歳 十一月二十日
秋田県由利本荘市立本荘東中学校長
高橋義明様 五十九歳 十一月一日

謹んでお悔やみ申し上げます。

(事務局長 富士道正尋)